

## 看護学科 2年 前期 総合科目

1. 人権論
2. 英語コミュニケーション
3. カウンセリング

## 看護学科

科目名: 人権論			担当教員 氏名: 田中 純一			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
医療・福祉の現場において患者・利用者・家族の人権を保障することは看護師としての使命の第一であり、基本です。この授業では身近な事例から人権問題を学び、私たちが取り組むべき課題について考えます。						基本的人権 ・居住の権利 ・生存権
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			基本的人権の意義を理解する。人権確立のための先人の努力を理解する。差別されている人びとのニーズを理解する。			
B 専門的技術			差別されている人や配慮が必要な人びとのニーズを受けとめ共感し保障できる。			
C 論理的思考力			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
F チームワーク・リーダーシップ			人間の尊厳の意義を理解し論理的に説明できる。			
G 倫理観			基本的人権の観点から善いことを倫理的に考察し行動できるように努める。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: %		実技試験: %
						その他: 20 %
特記事項:【その他】については、小テスト、講義へ積極的参加(出席及び講義内発言等)で評価する。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 講義の振り返りとして適宜小テストを実施する。レポートは1回。最終試験は別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 小テストは採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① ガイダンス						
② 人権思想の歴史的展開(1)				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
③ 人権思想の歴史的展開(2)				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
④ 世界人権宣言				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑤ 公的扶助				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑥ 生活弱者と生存権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑦ 生活弱者と居住の権利				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑧ 過疎高齢社会と地域コミュニティ				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑨ 生殖補助医療と自己決定権				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑩ 自然災害と被災者の暮らし				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑪ 災害時要配慮者とは				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑫ 避難所・仮設住宅を巡る諸問題(1)				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑬ 避難所・仮設住宅を巡る諸問題(2)				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑭ 生活再建と人間の復興				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
⑮ 総括				【予習】配布された資料等を読む 【復習】小テスト対策		
上記の順番は外部講師等の都合により変更することがある。						
使用テキスト: 特定のテキストは使用しない。適宜プリントを配布する。				その他参考文献など: 早川和男・井上英夫・吉田邦彦編『災害復興と居住福祉』 信山社		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): この講義を通して、基本的人権について自分のことばで説明ができるようになってください。						

## 看護学科

科目名： 英語コミュニケーション				担当教員 氏名： 毛利 有一		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか： ホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要：					キーワード	
看護の現場における基本的な英語表現を学ぶ。また、洋画等を利用して様々なタイプのネイティブ英語表現に触れ、実践的なリスニング力および会話表現を習得する。					看護・医療英語、リスニング、英文法、映画	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8.	
A 知識・理解力			インターネット上で視聴できる素材を通し、英語圏の文化、日本語との違い等を理解する。			
H コミュニケーション力			会話場面を把握し、話者の意図、気持ちを理解した上で対話しようとする態度を培う。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： 70 %		レポート： %		発表： %		実技試験： 20 %
その他： 10 %						
特記事項：オンライン授業となった場合はテストがレポートになる可能性があります。						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：試験日時およびレポート提出の締め切りは、授業時に別途指示する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：採点后、口頭で伝えるかコメントを添えて返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①1. 初診の外来患者に				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
②2. 基本問診、病歴				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
③3. 症状をたずねる				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
④4. 症状をもっと詳しく聞く				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑤5. 院内設備の案内				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑥6. 救急患者				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑦7. 中間評価と振り返り				【予習】これまでの範囲を復習する。		【予習】60分
⑧8. 診察日の予約				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑨9. 基礎情報				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑩10. 基礎的な検査(採血など)				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑪11. 精密検査				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑫12. リハビリテーション				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑬13. 手術の前後				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑭14. 毎日の観察				【予習】教科書(左記範囲) 【復習】教科書及び動画の復習		【予習】30分 【復習】60分
⑮15. これまでの学習の総合的な振り返り				【予習】これまでの範囲を再確認する		【予習】30分 【復習】60分
使用テキスト： 「現場ですぐに役立つ！看護・医療スタッフの英語」朝日出版(ISBN 978-4-255-00425-5)				その他参考文献など： Youtube、Netflix、Amazon Primeなど、動画配信サイト		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)：本授業は、1年時に学習した英文法の復習(+α)、看護の現場で使用する英語表現の習得、映画の予告等の動画を用いたアクティビティで構成されます。授業には辞書、やる気、使用テキストおよび毎授業時に配布するプリントをご持参ください。						

## 看護学科

科目名: カウンセリング			担当教員 氏名: 石津 孝治			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、事例検討を行うことにより、理解を深める。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
本科目は、カウンセリングの理論と技法の基礎、そしてカウンセリングのプロセスについて扱う。精神分析やクライアント中心療法、行動療法といった、主要な学派の理論と技法について概説した後、事例検討を多く取り入れることによってカウンセリングプロセスについて学ぶとともに、知識を深める。						カウンセリングの理論・関係性・事例検討
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		5. 6. 7.	
A 知識・理解力			カウンセリングの理論と技法に関する基礎的概念を理解する			
C 論理的思考力			理論がカウンセリングプロセスでどのように生かされるかについてイメージを持てる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時で試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストを採点し返却						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①来談者中心カウンセリングの理論と技法に関する知識を習得する				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
②来談者中心カウンセリングが重視する、共感、受容の本質について焦点を当て、事例を用いて理解を深める				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
③事例検討1(PTSDの治療例を素材とし、心的外傷の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
④精神分析的カウンセリング(精神分析的な人格論、発達論、技法論に関する知識を習得する)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑤プレイセラピーの理論と技法について学ぶ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑥事例検討2(子どものプレイセラピー実践例を素材とし、子どもの援助に必要な知識、態度について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑦前半のまとめ				予習。①～⑥までの内容の理解を確認する。	予習30	
⑧心理学的検査法(投影法による人格検査を実験し、その方法と意義を学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑨事例検討3(うつ病の治療例を素材とし、うつ病者に対する援助方法について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑩事例検討4(子どものプレイセラピーと箱庭を併用した実践例について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑪コラーージュ療法体験				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑫事例検討5(被虐待児とその母親に対する心理治療例を素材とし、被虐待児と母親の援助について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑬事例検討6(行動化を伴ったうつ症状を呈する心理治療例を素材とし、行動化の意味と対応について学ぶ)				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑭児童養護施設児童の心理的援助について学ぶ				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分	
⑮全体のまとめ カウンセリングの本質について				復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分	
使用テキスト:				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本格的な事例の分析を扱います。事例から学ぶ姿勢を大切にしてください。						